

共 生

黒木隆之 書

第 11 号
 平成 26 年 4 月 1 日発行
 発行人兼編集人 伊東安男
 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会
 【事務局】
 〒890-8517 鹿児島市鴨池新町 1-7
 県社会福祉センター内
 TEL099-257-9885 FAX 099-250-9358

平成25年度を振り返って

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会
 会長 伊東 安男



平成25年度は社会福祉法人経営者協議会にとっては厳しい1年でした。

『内部留保金』の問題や『多様な供給主体との関係』、それに『社会福祉法人のあり方』等々いろいろな批判や攻撃にさらされました。

『金が余っているのならなにも非課税にする必要はないじゃないか』とか、「イコールフィッティング論」等社会福祉法人にとっては冬の時代といっても過言ではないと言えます。

そうした中で、『低所得者対策』や『東日本大震災への支援』等経営協の独自活動として行ってきております。

鹿児島県の経営協といたしましても多くの事業活動を行ってまいりました。最も大きな行事は『第1回の社会福祉法人経営者大会』でした。数年前から私の中で温めていた企画でしたがやっと実現することが出来ました。高岡会長さんや俳優の西田聖志郎さん、それに分科会では全国経営協の幹部の皆さんのご協力をいただくことが出来ました。来年からもより充実した内容にしたいと考えております。

『知事と語る会』も年々充実し、全種別から様々な要望が出され、年々少しずつの改善が見られています。

また、『スピーチコンテスト』は今年度2回目を迎えたわけですが、昨年からすると内容も充実し、今後に期待が持たれます。

そのほか、『経営者セミナー』や『会計研修』等の事業を行ってまいりました。また、恒例の『東日本大震災』へのボランティア派遣も25年度は福島の特養養護老人ホームに2つの特養から派遣いただき感謝に耐えません。

3月には、『有識者会議』『経営協保育部会』の研修も行う予定です。

これから26年度の計画を立てますが、会員の皆様の期待に応えられるような内容にしたいと考えておりますので、ご支援・ご協力方をよろしくお願い申し上げます。

「第1回鹿児島県社会福祉法人経営者大会」の終了報告

これからの社会福祉法人に求められるものは

冬場の天候の激変するなかで、去る2月4日(火)～5日(水)の2日間、鹿児島市内のホテルにおいて、150名の参加のもと第1回県社会福祉法人経営者大会を開催致しました。

まず、伊東県経営協会長から第1回という記念すべき大会開催への想いをこめた開会のあいさつのあと、県保健福祉部長及び県社協会長様から来賓祝辞をいただきました。

基調講演は全国社会福祉法人経営者協議会 高岡会長による社会福祉法人をめぐる現状と課題について最新の情報に基づき講演がなされた。

次に記念講演は、鹿児島市ご出身で俳優・鹿児島弁指導者の西田聖志郎様による映画「六月燈の三姉妹」の企画、出演など映画を通して故郷に恩返しをしたいと熱く語っていただきました。

2日目は、県内外の専門の講師により3分科会(高齢・介護、障害、児童分野)に分かれ、それぞれ講師の講演、そして座長の司会のもと、講師と参加者の皆さんの意見交換が行われました。なお、初日の夕方には、講師を含め参加者による「懇親会」も開催され、有意義なものとなりました。

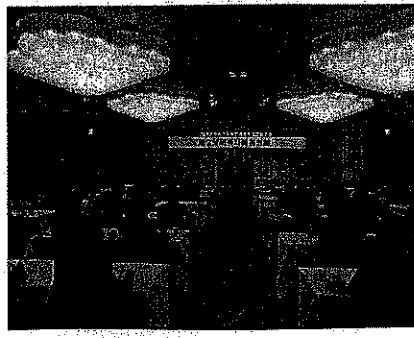
県経営者大会は社会福祉法人の関係者が一堂に会し社会の要請に応える社会福祉の信頼をさらに得るための方策等を研究・協議することで、共通認識を深めもって社会福祉法人経営の質の向上に資することを目的としており、第2回に向けて充実した大会となるよう努めていきます。

[2日目3分科会]

社会福祉法人の経営課題を議論
鹿児島市で大会
鹿児島県内の社会福祉施設の経営者を対象とした「県社会福祉法人経営者大会」が4日、鹿児島市のホテルで始まった。約150人が、社会福祉法人を取り巻く

鹿の動向や経営上の課題について理解を深めた。5日まで。
県社会福祉法人経営者協議会が、設立30周年を記念して初めて開いた。全国社会福祉法人経営者協議会の高岡國土会長(72)が基調講演。国が昨秋から開いている社会福祉法人の

在り方検討委員会の内容を紹介し、「地域福祉の担い手として、施設の多機能化や大規模化が求められている」と指摘した。
県社会福祉法人経営者協議会の伊東安男会長(68)は「課題を共有し、運営に役立ててほしい」と話した。



第2回「福祉の現場から私たちの提言」

スピーチコンテストの終了報告

—たくさんの県民のご参加のもと発表者から満杯の感動をいただく—

平成26年1月23日(木)かごしま県民交流センターにおいて、第2回「福祉の現場から私たちの提言スピーチコンテスト」を開催しました。これは、県社協、県民児協そして当経営協の三者で共同開催したもので、福祉に携わる皆さんから喜び、やりがい等を発表していただき、会場一杯の参加者やマスコミ等通じての情報発信により県民の皆さんに福祉の現場をより一層理解していただきました。なお、各社会福祉施設の役職員及び利用者の皆さんにおかれましては、作品募集から大会当日までご理解とご協力をいただきありがとうございます。

次回も予定しておりますのでよろしくお願い致します。



第3回社会福祉法人会計研修報告

—新会計基準移行の実務と課題処理へ向けて—

平成25年度第3回社会福祉法人会計研修を平成26年2月20日奄美文化センター、平成26年2月28日鹿児島市内のホテルにおいて合せて260名の参加のもとで開催いたしました。

今回も、真近に迫っております新会計基準への移行を主に、新会計基準に係る質疑、移行後の会計処理、新会計基準に基づく経理規程の作成ポイント、そして事前に提出してもらった質疑応答を具体的に助言、指導もなされさらには個別相談も実施いたしました。

新会計基準移行に準備中及び既に移行された法人等にあらわれても今後予定されています会計研修と併せて県社協の公認会計士 経営相談コーナーの活用もお願い致します。



「東日本大震災発生から3年」

①東日本大震災被災施設への26年度応援計画について

震災により高齢者施設等の中には介護職員等の不足により十分なサービスを提供できる体制がとれない状況等にあることから、全国経営協及び九社連経営協にあつては、25年度に引き続き26年度においても介護施設等の支援を計画しております。各県が1月ずつ交替で引き継ぐこととされ、当経営協にあつては、平成26年11月一杯、2名ずつの2交替で福島県南相馬市「伸生福社会（特養）長寿荘」の応援予定となっております。

改めてご依頼申しあげることとなりますが、会員の皆様のご理解と協力をお願い致します。

②東日本大震災 全国経営協支援活動 平成25年度の「特別年会費（義援金）」の支援お礼

全国経営協が行う復興・復旧支援のための取り組みや将来の備えとして実施すべき調査研究事業などを進めるための資金に充てるための「特別年会費（義援金）」についてご理解とご協力を賜りたくさんの法人からお寄せいただき厚くお礼申し上げます。

25年度は最終年度となりましたが、お寄せいただきました52法人1,238,500円については全額全国経営協にお届けいたしましたのでご報告いたします。



「全国経営協からのお願い事項」

全国経営協広報誌「経営協情報」や同ホームページ等で案内しております「会員法人情報公開ページ」への登録・公開の推進事務について

全国経営協では、財務情報等を総合的に公表するためのツールとして「会員法人情報公開ページ」を開設し、公開が済んでいない会員法人に対して登録、公開の推進又、自法人で登録作業を行うことが難しい法人をご支援するため、全国経営協事務局で登録作業を代行する体制（無料）を整えております。ご相談したい事項、ご不明な点は下記までお願いいたします。



【お問い合わせ先】

全国社会福祉法人経営者協議会 事務局（担当：福山）

TEL03-3581-7819 e-mail:koukai@keieikyo.gr.jp

投稿

川内自興園が目指す福祉サービス

川内自興園
園長 瀧脇和子



川内自興園は昭和53年10月に、鹿児島県立知的障害者授産施設として創設され、運営は、当事業団が行ってまいりました。

一方、川内厚生園は昭和38年10月に県立県営の知的障害者更生施設及び知的障害児施設として運営されてまいりました。そのふたつの施設が、平成18年4月に施行された障害者自立支援法に基づく新事業体系移行を前提に、平成21年4月に県から当事業団に移譲され、その後、当事業団では、両施設を統合した新たな障害者支援施設として、整備するために、建物の全面改築を行い平成24年3月に完成しました。

隣接していた両施設ではありましたが授産施設と更生施設という種別も違い、またそれぞれが長い歴史のある施設であり、その統合にあたっては、新事業体系に沿ったサービス提供という枠の中ではありませんが、利用される方々やご家族の思いに少しでも寄り添った暮らしのあり方を提供したいと思い、建物の基本構想においても、随所に利用者の暮らしに配慮した設計・設備を導入し、快適な居住スペース・日中活動の場と生活環境にもこだわりました。今までそれぞれの施設で別々の暮らしをしていた利用者の方々の、新たな住まいの提供や活動内容の変更にあたっては、「どんな暮らしをしたいか」一人ひとりの思いに寄り添って、施設の完成とともに新たな生活の場と新たなサービスの提供を始め2年が過ぎようとしています。

この間、利用者みなさんに「可能な限り自分らしい生活と活動のサービスを提供すること。」を願って運営してまいりました。従来の「入所施設」の概念を一掃して、「ここに住みたい」と選んでいただいた生活の場が川内自興園であり、川内ひまわりホーム（グループホーム）であって、ここは自分の家であり、仲間は隣人であり兄弟であると位置づけて自立と社会参加を目指していただく、「特定の生活様式」にこだわらない個別支援や訓練を提供し、利用者の地域生活の拠点となり得る川内自興園を目指しています。

とは言うものの、心を込めて一人ひとりに向き合い支援していても、支援現場は限られた人員の中で、システムや個人が抱えている問題が大きすぎて「しかたない」「無理」「難しい」と悲鳴を上げそうな現実もありますが、そんな時に職員と一緒に考えるのは、「できない」ではなく、「・・・でどうしたい？」「どうしたら？、何か、できることは？」との問いかけです。

簡単ではないけれど川内自興園は「利用者や家族の思いに寄り添った施設」を目指します。

県社会福祉施設経営相談コーナー

県社協福祉施設経営相談コーナーでは、職員を配置し、文書、電話等により法人経営施設運営に関する相談を受け付けています。

秘密は厳守され相談は無料ですのでお気軽に御利用してください。

- ◇専任指導員1名
- ◇兼任指導員（公認会計士）1名
- ◇顧問弁護士（県経営協による委嘱）

◎連絡先：TEL 099-257-9885 FAX099-250-9358

◎担当：寺田

就任のあいさつ

このたび、4月1日付けで県経営協事務局長を担当させていただくことになりました。

これまで会員の皆様が築いてこられた「社会福祉の発展に寄与」に向け、事業の育成強化や会員相互の研さん・交流などの取り組みについてお役にたてる事務局となれるよう微力ではありますが頑張っておりますので、御指導御鞭撻よろしくお願いたします。

県経営協 事務局長 寺田 健一

事務局便り

【前号発行後の経営協の取組み】

月	日	行事名	場所	主な内容等
1	23	第2回スピーチコンテスト	かごしま県民交流センター	発表・表彰等
2	4～5	第1回県社会福祉法人 経営者大会	城山観光ホテル	講演・分科会等
2	27	九社連経営協 第2回役員会	福岡市	情報開示に対する取り組み等
2	20	第3回会計研修(奄美会場)	奄美文化センター	新会計基準、経理規程、他
2	28	〃 (鹿児島会場)	サンロイヤルホテル	同上
3	19	役員会	社会福祉センター	事業報告・決算見込み・事業計画・ 予算(案)など
3	27	県との有識者懇談会	社会福祉センター	社会福祉法人・施設・指導監査等に 関する意見交換会の実施
3	28	県政報告会	自民党県連会館	県予算及び主要事業に対する要望 の報告
3	28	県経営協保育部会研修会	アーバンポートホテル	子ども子育て新制度についての講演

【これからの経営協の取組み(予定を含む)】

4	14	監事会	社会福祉センター	定期監査
4	15	役員会	社会福祉センター	総会提案議案
4	15	経営指導連絡協議会	社会福祉センター	事業実績・事業計画(正副会長)
4	24	定期総会(午前)	サンロイヤルホテル	事業報告、決算、事業計画、予算など
4	24	経営者セミナー(午後)	〃	講師2名
5	下旬	九社連経営協役員会	福岡市	決算・予算、事業計画など
7		会計研修	鹿児島市内	新会計基準、他